

アクセシビリティチェック

教材を利用する子供のうち、3～4%は、文字の読みが流暢でないLD(学習障害)を持っていることが近年の調査研究で分かっている。また、色覚異常のある子供も5%程度存在する。それらに配慮するために、本チェックリストを活用していただきたい。

- **読みやすいフォント**

LDのある子供には一般的に、明朝体よりもゴシック体が読みやすいといわれている。さらに、それらの子供の読みやすさに特別に工夫した、UDデジタル教科書体という書体もあるので、可能な範囲で使用を検討していただきたい。

- **文字の色・背景の色**

背景は1色にする。背景に模様などは用いない。

背景の色と文字の色のコントラストに配慮する。

色覚異常のある子供の困難は、特定の複数の色が似通って見えることである。それを避けるために、隣り合った部分(背景と文字など)は、違いがはっきりする色の組み合わせに配慮する必要がある。

- **レイアウト**

最近では優れたテキストリーダーが様々なソフトに適用できるようになっているが、テキストリーダーは、段組があるとうまく動作しない場合があるため、避けることが望ましい。

- **文字を提示する際には画像だけでは不十分**

画像としての文字は、テキストリーダーが読むことができないため、文字データを併用する必要がある。